

平成23年第1回君津富津広域下水道組合議会臨時会会議録

1. 招集年月日 平成23年6月22日
1. 招集の場所 君津市議会全員協議会室
1. 開会の日時 平成23年6月22日 午後3時00分

1. 出席議員 13名

1番	真木好朗君	2番	池田文男君
3番	大野裕二君	5番	鈴木良次君
6番	三宅良一君	7番	岩崎剛久君
8番	岩本朗君	9番	磯貝清君
10番	鴫田剛君	11番	福原敏夫君
12番	竹内洋君	13番	平野和夫君
14番	武次治幸君		

1. 欠席議員 1名

4番 石井志郎君

1. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

管理者	鈴木洋邦君	副管理者	佐久間清治君
監査委員	平野明彦君	会計管理者	三沢秀俊君
事務局長	鈴木登君	副参事建設 課長事務取扱	秋元昇三君
総務課長	中後秀樹君	管理課長	浜名明君
総務課主幹	武谷寛君	管理課長補佐	緒畑勉君
管理課処理場長	池田一郎君	建設課長補佐	川口泰明君
総務課総務係長	前田雅章君		

1. 職務のため出席した者の職氏名

総務課副主査 中村光宏 総務課主事 鴨田貴紀

開会及び開議

平成23年6月22日午後3時00分

○議長（福原敏夫君） 皆さん、こんにちは。本日は大変お忙しいところご出席をいただきましてご苦
労さまでございます。

石井志郎議員から欠席の届けが出ておりますので、ただいまの出席議員は13名でございます。した
が、いまして定足数に達しておりますので、これより平成23年第1回君津富津広域下水道組合議会臨時
会を開会し、本日の会議を開きます。

諸般の報告

○議長（福原敏夫君） 日程に先立ちまして、諸般の報告をいたします。

監査委員から平成23年2月分から4月分までの現金出納検査の結果報告がありました。下水道組合
総務課にその写しがございますので、ご覧ください。

次に、地方自治法第121条の規定による出席者は、別紙印刷物によりご了承願います。

次に、本日、管理者から議案の送付があり、これを受理しましたので報告いたします。

なお、議案につきましては、お手元に配付したとおりでございます。

以上で諸般の報告を終わります。

○議長（福原敏夫君） 本日の日程につきましては、会議規則第20条の規定により議長において定め、
印刷配付してございます。

この日程に従いまして、会議を進めてまいりたいと存じますのでご了承願います。

（参 照）

君富下総第198号

平成23年6月22日

君津富津広域下水道組合議会

議長 福原敏夫様

君津富津広域下水道組合

管理者 鈴木洋邦

議案の送付について

平成23年第1回君津富津広域下水道組合議会臨時会に付議する議案について、下記のとおり送付
します。

記

議案第 1号 工事委託協定の締結について

報告第 1号 平成22年度君津富津広域下水道組合継続費繰越計算書について

○

管理者あいさつ

○議長（福原敏夫君） 日程に入るに先立ち、管理者から発言を求められておりますので、これを許可します。

管理者、鈴木洋邦君。

（管理者鈴木洋邦君登壇）

○管理者（鈴木洋邦君） 開会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日、平成23年第1回君津富津広域下水道組合議会臨時会を招集しましたところ、議員の皆さんには、何かとご多用のところご出席をいただきまして、まことにありがとうございます。

さて、今般の東日本大震災による福島第一原発の放射能漏れ事故に伴い、本組合におきましても終末処理場の放射性物質の測定を行い、その結果については皆さんにお知らせしたところでございます。

今後につきましても、地域住民の安全・安心のため、引き続きモニタリング調査を実施し、測定結果につきましてはホームページで公表してまいりますので、よろしく願いいたします。

本日、提出させていただきます議案は、お手元の議案書のとおり、工事委託協定の締結1件のほか、予算繰越にかかわる報告2件でございます。後ほど提案理由の説明をさせていただきますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げまして、開会に当たってのあいさつといたします。よろしく願いいたします。

○議長（福原敏夫君） 以上で管理者のあいさつを終わります。

○

日程第1 会期の決定

○議長（福原敏夫君） 日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

会期は、本日1日としたいと存じますが、これにご異議ございませんか。

（「なし」との声あり）

○議長（福原敏夫君） ご異議ないものと認めます。

よって、会期は本日1日と決定いたしました。

○

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（福原敏夫君） 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第81条の規定により、8番岩本朗君、10番鵜田剛君を指名いたします。

○

（提案理由説明、質疑、討論、採決）

日程第3 議案第1号

○議長（福原敏夫君） 次に、日程第3、議案第1号並びに報告第1号及び報告第2号を一括議題といたします。

なお、議案の朗読につきましては省略いたしますので、ご了承願います。

直ちに提案理由の説明を求めます。

管理者、鈴木洋邦君。

(管理者鈴木洋邦君登壇)

○管理者（鈴木洋邦君） 議案第1号並びに報告第1号及び報告第2号について、一括して提案理由の説明を申し上げます。

初めに、議案第1号 工事委託協定の締結についてでございますが、本議案は、君津富津終末処理場水処理施設5・6池建設工事につきまして、協定金額24億2,600万円で日本下水道事業団と工事委託協定を締結しようとするもので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

次に、報告第1号 平成22年度君津富津広域下水道組合継続費繰越計算書についてでございますが、本件は、平成22年度から24年度までの継続費として予算措置をいたしました人見第1ポンプ場改築更新事業及び人見第2ポンプ場改築更新事業につきましては、22年度の年割額にかかわる経費の一部を23年度に繰り越ししましたので、地方自治法施行令第145条第1項の規定により、繰越計算書を調製し、議会に報告するものでございます。

次に、報告第2号 平成22年度君津富津広域下水道組合繰越明許費繰越計算書についてでございますが、本件は、平成22年度に繰越明許費の予算措置をしました君津富津終末処理場管理棟建築建築設備更新事業及び君津富津終末処理場長寿命化調査業務委託事業にかかわる経費を23年度に繰り越ししましたので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、繰越計算書を調製し、議会に報告するものでございます。

以上、議案第1号並びに報告第1号及び報告第2号について一括して提案理由の説明を申し上げましたが、詳細につきましては、事務局長から補足説明させますので、よろしくご審議くださいますようお願いをいたします。

○議長（福原敏夫君） 続いて、補足説明を求めます。

事務局長、鈴木登君。

(事務局長鈴木 登君登壇)

○事務局長（鈴木 登君） 議案第1号並びに報告第1号及び報告第2号について、補足説明を申し上げます。

初めに、議案第1号の工事委託協定の締結についてご説明申し上げますので、議案つづりの1ページと議案資料の1ページに位置図、2ページに平面図がございますので、あわせてご覧ください。

内容につきましては、現在、君津富津終末処理場は、処理能力1日4万立方メートルで汚水処理を行っているところでありますが、今後の汚水量の伸びと放流水の水質基準を遵守するため、5・6池の高度処理施設の増設工事を実施するものでございます。平成23年度から平成25年度に土木建築工事、平成25年度から平成26年度に機械設備工事、電気設備工事を実施する4カ年の継続事業でございます。これらの工事は、双方に関連することから一貫して実施する必要があり、経済性や品質確保の面からも分離施工が不適当なものでございます。協定金額は24億2,600万円、その内訳といたしまして、平成23年度3億3,200万円、平成24年度5億5,300万円、平成25年度9億2,600万円、平成26年度6億1,500万円であります。

なお、本協定は工事発注業務から施工監理業務につきまして、日本下水道事業団に委託を行うものであります。日本下水道事業団は、処理場などの下水道の根幹的施設の建設を主たる業務とすること

により、公共水域の水質保全という国の政策目標を達成する機関として法律に位置づけられており、地方公共団体の出資等により運営されております。また、終末処理場の建設工事は、高度な知識及び技術が求められるという業務の特殊性から、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の、その性質又は目的が競争入札に適しないものに該当するというので、日本下水道事業団と随意契約をさせていただこうとするものでございます。

なお、本協定の金額は概算事業費であり、協定締結後に日本下水道事業団が実施いたします入札において差金が生じた場合等には、最終的に費用を精算することになります。

次に、報告第1号の平成22年度君津富津広域下水道組合継続費繰越計算書についてご説明申し上げますので、議案つづりの3ページをごらんください。

人見第1ポンプ場改築更新事業につきましては、平成22年度に継続費の措置をさせていただき、日本下水道事業団と総額13億609万4,000円の委託協定を締結し、平成22年度の年割額を2億709万4,000円としたところでございますが、水路内の堆積土砂が予想以上に多く、機器設計のための躯体等の形状確認を行うに当たり除去が必要となったため、その対応に不測の日数を要し、当初計画どおりの出来高達成が困難となり、このうち9,000万円を平成23年度に繰り越しました。財源内訳は、国庫補助金4,500万円、地方債4,500万円でございます。

また、人見第2ポンプ場改築更新事業につきましても、平成22年度に継続費の措置をさせていただき、日本下水道事業団と総額9億800万円の委託協定を締結し、平成22年度の年割額を1億9,000万円円としたところでございますが、日本下水道事業団の入札実施の結果、低入札調査が必要となり、その対応に不測の日数を要し、当初計画どおりの出来高達成が困難となり、このうち1億1,100万円を平成23年度に繰り越しました。財源内訳は、国庫補助金5,550万円、地方債5,550万円でございます。

2事業を合わせました継続費繰越額は2億100万円であり、財源内訳は国庫補助金1億50万円、地方債1億50万円でございます。このため地方自治法施行令第145条第1項の規定により、繰越計算書を調製しましたので、これを報告するものでございます。

また、報告第2号の平成22年度君津富津広域下水道組合繰越明許費繰越計算書についてご説明申し上げますので、議案つづりの5ページをご覧ください。

君津富津終末処理場管理棟建築建築設備更新事業につきましては、日本下水道事業団と委託協定を締結したところ、日本下水道事業団の入札実施の結果、低入札調査が必要となり、その対応に不測の日数を要し、平成22年度中に事業を完了させることが困難となり、調定額7,172万円のうち2,000万円を平成22年度補正予算書第2号により平成23年度に繰り越すべく予算措置をさせていただきました。財源内訳は、国庫補助金1,057万円、地方債940万円、一般財源3万円でございます。

また、君津富津終末処理場長寿命化調査業務委託事業につきましても、日本下水道事業団と委託協定を締結しましたが、調査実施に当たり稼働中の施設を一時停止する必要が生じたため、処理場の処理能力に影響を与えないよう切りかえ調整を行うために不測の日数を要し、平成22年度中に事業を完了させることが困難となり、協定額720万円全額を平成22年度補正予算第2号により、平成23年度に繰り越すべく予算措置をさせていただきました。財源内訳は、国庫補助金360万円、一般財源360万円でございます。

2事業を合わせました繰越額は2,720万円であり、財源内訳は国庫補助金1,417万円、地方債940万円、一般財源363万円でございます。このため地方自治法施行令第146条第2項の規定により、繰越計

算書を調製しましたので、これを報告するものでございます。

以上で議案第1号並びに報告第1号及び報告第2号について補足説明を終わりますので、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（福原敏夫君） 補足説明が終わりましたので、これより質疑、討論、採決を行います。

初めに、議案第1号 工事委託協定の締結について、質疑、討論、採決を行います。

まず、ご質疑ございませんか。

（「なし」との声あり）

○議長（福原敏夫君） 質疑もないようでございますので、質疑を終結し、討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」との声あり）

○議長（福原敏夫君） 討論もないようでございますので、討論を終結し、直ちに採決いたします。

議案第1号 工事委託協定の締結について、原案に賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長（福原敏夫君） 挙手全員であります。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

次に、報告第1号 平成22年度君津富津広域下水道組合継続費繰越計算書について質疑を行います。

ご質疑ございますか。

（「なし」との声あり）

○議長（福原敏夫君） 質疑もないようでございますので、質疑を終結いたします。

次に、報告第2号 平成22年度君津富津広域下水道組合繰越明許費繰越計算書について質疑を行います。

ご質疑ございますか。

2番、池田文男君。

○2番（池田文男君） 報告いただきましたんですが、多少わからない点がありますのでご質問させていただきます。

報告受けましたこととお聞きをしますけれども、3月議会におきまして明許費等々が議決されまして、2,000万というような形で計上されたという前提でお話しをさせていただきます。

最初の事業名でございますけれども2つございます。冒頭の管理棟の建築費、この内容の更新事業の今現在の詳細がおわかりになれば教えていただけますでしょうか。

○議長（福原敏夫君） 副参事建設課長事務取扱、秋元昇三君。

○副参事建設課長事務取扱（秋元昇三君） ただいまの池田議員の質問に対してお答えします。

報告第2号の平成22年度君津富津広域下水道組合繰越明許費繰越計算書の君津富津終末処理場の管理棟建築設備更新事業につきまして説明させていただきます。

平成22年度の協定額といたしまして7,120万円、工事概要につきましては、建築工事、建築機械設備工事、建築電気設備工事でございます。そして、平成22年度出来高払いといたしまして5,172万円をお支払いしてございます。残りの2,000万円につきましては、明許繰り越しとさせていただきたいと思っております。

その内容につきまして、補助率に高率の10分の5.5と低率の2分の1がございまして、高率分が

1,140万円、低率分につきましては860万円、合わせまして2,000万円となります。補助率は下水道法施行令第24条の2の規定において、「公共下水道の主要な管渠及び終末処理場並びにこれらの施設を補完するポンプ場、その他主要な補完施設の設置又は改築に要する当該費用の額に2分の1又は10分の5.5を乗じて得た額」となっております。財源内訳は国庫支出金といたしまして1,057万円、地方債といたしまして940万円、この地方債につきましては借り入れ基準がございまして10万円単位の借り入れとなっておりますので端数が生じますので、端数につきましては一般財源とさせていただきます。この端数が3万円の計上でございます。

なお、この事業につきましては、5月18日に完了してございまして、支払いにつきましては7月25日を予定してございます。よろしく申し上げます。

○議長（福原敏夫君） ほかにご質疑ございますか。

2番、池田文男君。

○2番（池田文男君） 報告事項でございますので、余り詳細をついてもいけないと思うんですけども、一般財源を3万円で、地方債のところを940万円ですから、地方債は10万単位で借りるわけですよ。それにおいて950万円になれば借りる必要がなくなったということで、工事の関係で詳細はわかりませんが、940万にしたと。それにおいて一般財源を3万円補充しようということで明許費は帳じりを合わせたということだと思います。それはそれとしまして、会計上で、きちっと3月末に帳じりを合わせまして、我々3月議会で明許費に2,000万円計上されまして議会で議決いたしました。それはそれでよしとしましょう。

先ほど工事の中でご説明がありました、その比率の問題等々の関係は、それは工事限度額の提示があると思うんですけども、その詳細は、工事が恐らく30、50、40、備品だとかいろいろあると思うんですけども、その比率があると思うんですけども、それはそれとして、事業団のほうに一括発注するということでもありますから、往々にして、こういう昨今の低景気時代でありますから、本市においても大変お恥ずかしいことなんですけれども、過去の議会において契約されて倒産した会社もあるやに伺っております。そういったことも慎重に、これからは低迷な経済でありますから、大きな金額等々を投資して、皆様方も処理をしっかりとするというようなことでもありますから、ぜひともその点なども、ただ事業団に投げかけたからというのではなくて、使途のことも詳細なこと等をお調べになっていただきまして投資していただきますようお願い申し上げます。

○議長（福原敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。

（「なし」との声あり）

○議長（福原敏夫君） 質疑もないようでございますので、質疑を終結いたします。

以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたしました。

○

○議長（福原敏夫君） 閉会にあたり、管理者から発言を求められておりますので、これを許可します。
管理者、鈴木洋邦君。

（管理者鈴木洋邦君登壇）

○管理者（鈴木洋邦君） 閉会に当たりまして、一言御礼のあいさつを申し上げます。

本議会で提案いたしました議案につきましては、原案どおり可決いただき、まことにありがとうございました。

本年度におきましても、安心・安全で快適な暮らしやすいまちづくりを目指し、施設の再構築と処理区域の拡大に向け事業推進に努めてまいり所存でございますので、議員の皆さんのご指導とお力添えを切にお願いを申し上げましてあいさついたします。

どうもありがとうございました。

○議長（福原敏夫君） これをもちまして、平成23年第1回君津富津広域下水道組合議会臨時会を閉会といたします。

ご苦労さまございました。

平成23年6月22日午後3時25分

閉会